

なぜ若者はオーバードーズをするのか？

近年、問題となっている市販薬のオーバードーズ。武蔵野大学後援会教養講座「なぜ若者はオーバードーズをするのか？市販薬乱用の理解と援助」が昨年末、松本俊彦さん（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長）を講師に行われました。（横田真美子）

松本俊彦さんが講座

まつもと・としひこ
国立精神・神経医療
研究センター病院薬物
依存症センターセン
ター長兼任。『世界一
やさしい依存症入門』（河
出書房新社）、『オー
バードーズする子どもた
ち なぜ、「助けて」
が言えないのか？』（合
同出版）など著書多数

松本さんが所属する薬物依
存研究部が1987年から行
っている「全国の精神科医療
施設における薬物関連精神疾
患の実態調査」からは、患者
の主な乱用薬物の分類がわか
ります。（グラフ1）
2000年代に入ってから精神
科医療施設の増加とともに、

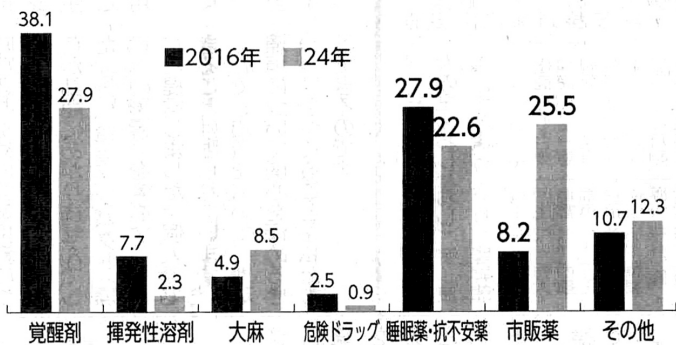
自助・拡大

オーバードーズ（OD）と
は、症状を抑える以外の目的
で大量に医薬品を服用するこ
とです。若者たちの間で広が
っているODは、生きづらさ
や困りごとなどのつらい気持
ちを緩和するために、市販薬
である「かぜ薬」や「咳止め
薬」など、「合法の薬物」を
多量に服用してしまいます。
「問題はODすることじゃ
なくて、ODしかたかたかう武
器がないことです」と松本さ
ん。さらに「市販薬を乱用し
ている子たちは、死にたい、
消えたいと思っている子たち
です。薬の管理や規制ではな
く、人の支援をしなければい
けない」と強調します。

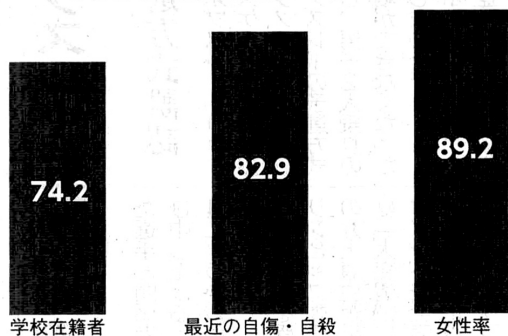
「つらい、消えたい」 静かなSOS

睡眠薬や抗不安薬といった処
方薬の依存性による健康被害
が増えています。
しかし、薬物乱用の中でも
っとも顕著に割合が増えてい
るのが「市販薬」の依存症患
者です。
市販薬には、違法薬物を10
〜100倍に薄めて合法にな
った成分が含まれているもの
もあります。多量に服用する
ことで、気分が良くなったり
幻覚が見えたりすることあ
るのです。
人の代謝機能はそれぞれ違
うため、同じ種類の同じ量を
服用して自分は大丈夫でも、
友だちは死んでしまうことも
あります。しかも市販薬にも
一定の依存性があり、急にや
めると離脱症状に苦しむこと
もあるのです。
14年の薬事法改正で、乱用
リスクの高い市販薬は「お一
人様一つまで」と、店舗で販
売個数を制限するようになり
ました。それでも市販薬の乱
用者が増えている原因の一つ
は、ドラッグストアの増加に
あります。市場規模は24年に
10兆円を超え、政府も応援し
ています。なぜなら「年々高
騰する医療費を少しでも削減
するために最も効果的な方法
は、なるべく国民を病院に行
かせないことなのです」と松
本さん。
そのために国は、セルフメ
ディケーションを推進する政
策の一つとして、市販薬の96
%を占める2類、3類の医薬

グラフ1 全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患実態調査
「捕まらない薬物」の台頭（%）



グラフ2 10代市販薬患者93例の特徴（%）



（グラフはいずれも松本さんの資料から作成）

品が販売できる、登録販売者
の資格要件を緩和してきまし
た。さらに、17年からセルフ
メディケーション税制を導
入。要件はありますが、市販
薬の購入金額も確定申告の対
象になりました。
松本さんは、「これらの政
策は、国民をより健康にする
のに役立っているのか」と問
いかけました。
大人の問題
24年の同調査では、10代の
薬物依存症患者130人のう
ち、93人が市販薬の依存症で
した。その特徴は▽中学もし
くは高校に在籍中▽最近1年
以内にリストカットなど自分
の体を傷つけている▽女性一
です（グラフ2）。「あたかも
問題を抱えていない普通の
中高生が、生きるために自分を
傷つけている」のだ、と松本
さんは言います。
17年から文部科学省は、自
殺予防教育とともに年に1度
の「SOSの出し方に関する
教育」の実施を位置づけてい
ます。しかし、若者の薬物依
存は増え続けています。
松本さんは言います。「SOS
を大人たちに出して、その
結果、失望したり、絶望した
りしている子どもが増えてい
ます。大人たちはSOSの受
け止め方を知っていたのか、
という問題が問われなければ
いけない。誰にも打ち明けら
れずにいる中では、身近な人
との「雑談」で癒やされてい
ることは結構あるのです」